



# BRIDGESTONE BATTLECRUISE H50 IMPRESSION

TEXT:青木タカオ PHOTO:磯部孝夫  
取材協力/ブリヂストン お客様相談室 TEL0120-39-2936

## ロングライフでもっとスポーティなタイヤを! そう願うハーレーユーザーにぜひ履いて欲しい

世界最高峰の2輪レースや鈴鹿8時間耐久レース、全日本ロードレース選手権といった  
モータースポーツ活動において輝かしい成績を収めてきたブリヂストン。  
そんなロードレース界の雄が、ついにアメリカンVツインクルーザー向けのタイヤを専用開発した。  
その名も『BATTLECRUISE H50(バトルクルーズ・エイチゴーマル)』。  
気になるライドフィーリングを、ハーレーダビッドソンXL1200X フォーティーエイトにて確かめることにした。

『BATTLEAX(バトルアックス)』シリーズを中心に、ON/OFFを問わずカテゴリーごとに多彩なモーターサイクル用タイヤをリリースしてきたブリヂストン。そのブリヂストンが、ハーレーダビッドソンを中心としたアメリカンクルーザー専用持し満を持して提案する新ブランド『バトルクルーズ』。ユーザーからの要望に耳を傾け、バトルクルーズシリーズの研究開発で培われたテクノロジーをもとに新開発されている。

まず前後16インチのフォーティーエイトのホイールにセットされたバトルクルーズ・エイチゴーマルをじっくりと眺めてみる。ハーレー乗りとしてはレッドバターンも大いに気になるのだが、力強いルックスはアメリカンVツインによく似合う。浅く彫り込まれたダイヤモンドカットがノルターにあらわれ、見た目も誇らしげで堂々たるものだ。

さあ、走り出してみよう。ハーレーダビッドソンのラインナップの中では軽快感のあるスポーツスターファミリーといえども、フォーティーエイトの車両重量は252kgとヘビー。重量級クルーザーの走りを支えるには、強くてガッチリとした硬いタイヤがこれまでは求められてきたが、このバトルクルーズ・エイチゴーマルはどうだ。剛性はしっかりと感じられるのだが、乗り心地はソフトで、重いはずの車体が軽く感じるではないか!

吸吸性が良く、サスペンションがアップグレードしたような感覚は、ゴムの強度によってではなく、タイヤの構造を見直すことによつて実現している。縦バネと横バネを構造面で使い分け、リアでは縦バネを5%ほど下げることで、フラットでスムーズな乗り心地を獲得。横方向の剛性を担う横バネは従来どおりとし、リアタイヤの振動を減らし、乗り心地を飛躍的に向上しているのだ。

ストップ&ゴーを繰り返す市街地走行でもコンフォート性が上がっているのがわかり、車線変更やブレーキングも軽快で鋭い。

振動が低減しているのは、ミラーのブレが抑制され、後方がしっかり確認できること





ハーレーダビッドソン XL1200X  
フォーティエイトの前後16イン  
チ・キャストホイールに装着し  
たバトルクルーズ・エイチゴー  
マル。迫力あるフロントエンドを  
より強調する力強いレッドパター  
ンが見る者を魅了する。



## ■タイヤサイズ

◎2017年2月発売

Front	Rear
130/90 B16 M/C 73H	130/90 B16 M/C 73H
130/90 B16 M/C 67H	140/90 B16 M/C 77H
100/90 B19 M/C 57H	150/80 B16 M/C 77H
80/90 -21 M/C 54H	160/70 B17 M/C 73V

◎2018年2月発売

Front	Rear
130/80 R17 M/C 65H TL	180/65 B16 M/C 81H TL
140/75 R17 M/C 67V TL	180/70 B16 M/C 77H TL
120/70ZR18 M/C (59W) TL	150/60ZR17 M/C (66W) 77H
130/70 B16 M/C 63H TL	180/60 B17 M/C 75V TL
120/70ZR18 M/C (60W) TL	200/55 R17 M/C 78V TL
130/60 B19 M/C 61H TL	180/55 B18 M/C 80H TL
130/60 B21 M/C 63H TL	240/40 R18 M/C 79V TL

コーナーではスッと車体が寝ていき、あつという間にステッパ裏のバンクセンサーが路面を擦ってしまふ。タイヤ自体は「ショルダー

旋回性も素晴らしいの一言に尽きる。

また、新形状と大重量車に適した高剛性構造に伴い、新コンパウンドをリアに採用したが、グリップバランスを考慮してフロントには既存のコンパウンドを採用している。リアタイヤの長寿命化もあつて、摩耗バランスが前後で大きく異なるということとなり、ユーザーからしてみればじつにありがたいロングライフとなっているのも見逃せない。

また、新形状と大重量車に適した高剛性構造に伴い、新コンパウンドをリアに採用したが、グリップバランスを考慮してフロントには既存のコンパウンドを採用している。リアタイヤの長寿命化もあつて、摩耗バランスが前後で大きく異なるということとなり、ユーザーからしてみればじつにありがたいロングライフとなっているのも見逃せない。

とてもよくわかる。ハンドルグリップから身体に伝わる微振動もマイルドになり、上質な乗り心地をもたらしている。  
レンチェンジャやコーナリングで車体がスッと寝ていくのは、前後ともクラウンRを小さくした新形状によることも大きい。つまりより丸みを帯びたプロファイルが新採用されていて、接地面が従来のエクセドラマックスより増えている。軽快なハンドリングをもたらし、同時に、耐摩耗性能も大幅に向上し、リアタイヤについてはエクセドラマックスと比較して約2.7倍の摩耗ライフを実現した。

## “ 力強いレッドパターンで 気になるルックスも申し分ナシ! ”

より丸みを帯びた新プロファイルによって、軽快なハンドリングをもたらすと同時に耐摩耗性能も大幅に向上。エクセドラ マックスと比較して約2.7倍の摩耗ライフを実現した。また、リアタイヤのロングライフ化が前後タイヤの摩耗バランスを均等化している。

重量感のあるはずの車体が軽く感じるほど、ハンドリングに軽快感をもたらす。ソフトな乗り心地ながら剛性もしっかり確保され、踏ん張りの効く足まわりとなっている。まるでサスペンションをアップグレードしたかのような。



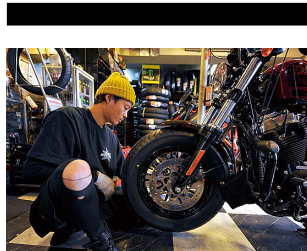
旋回性能を大幅に向上するとともに、ハイウェイクルージングでのコンフォート性も高め、本来クルーザーが持つ長所を伸ばしている。ロングライフを達成しつつ、コーナリングでの高い操縦性能と乗り心地を追求。長距離ライディングでの疲労を軽減した。

ワインディングがますますエキサイティングに。コーナリング性能も高く、「さすがはサーキットで数々の栄光を勝ち取ってきたプリチストン」と思わず唸ってしまう。ショルダー部まで使ってもらったクリップが物足りなく、車体そのものが持つバンク角が物足りない。

高速クルージングでの乗り心地の良さも

この旋回力の高さは、じつはタイヤを見て触った瞬間から感じていた。プロファイルが尖っていて見るからに軽快に曲がりそうだし、タイヤを手で触ったときの柔らかさはこれまでのアメリカンクルーザー向けタイヤにはなかったしなやかで弾力性に富んだもの。「これはクリップしろう!!」と、タイヤを履き替えた途端に想像できたが、その直感間違いないでなかった。

の端までもっと使って欲しい」と言っているかのよう。コーナリが得意で、バンク中もそれほど安定していて絶大なグリップを感じる。バンクしてからは程良かったわみ、路面をしっかり掴んでいることが把握できるから、アクセルを臆せず開けていくことができ、走りのペースが自然と上がっていく。峠道でよく出くわす荒れた路面も難なくこなす吸収性があり、ツーリングでのワインディング区間がよりエキサイティングなものになるだろう。



取材協力

### スピードスター

東京都世田谷区世田谷1-48-8  
TEL / 03-3427-1351  
営業時間 / 平日9:30~20:00(日祭日~19:00)  
※最終受付営業時間の30分前まで  
定休日 / 水曜日

世田谷道沿いにあるオートバイタイヤ専門店。熟練スタッフの丁寧な作業とリーズナブルな価格設定で、リピート率が高いのも頷ける。外車、旧車、時間のかかる車両、他店で断られた車両等でも親身になって相談に乗ってくれるなど、ライダーにとって頼もしい味方となっている。カフェも大人気だ。



車両協力

### ハーレーダビッドソンシティ中野店

東京都中野区野方4-42-9  
TEL / 03-6909-1180  
営業時間 / 11:00~20:00  
定休日 / 水曜日

新青梅街道沿い、環7近くにショールームを構える同ディーラー。天井の高いショールームでは、大きなカウンターデスクでより楽しいさまざまなハーレーライフを提案。駐車場も併設され、クルマでの来店も可能となっているのが嬉しい。2階にはサロンやウェアコーナーもあり、家族連れも大歓迎だ。

リングを再度チェックしてみたいと思った。

また、FLやFX系といったビッグツインユーザーにとっても「ロングライフで、もっとスポーティなタイヤを」と願っていたライダーは少なくない。筆者も自分のエレクトラグライドに履いて、FLH系でのフィーリングを再度チェックしてみたいと思った。

ロングライドとハイウェイクルージングを得意とするハーレーダビッドソン。そのラインナップの中でアグレッシブで軽快な走りが魅力のスポーツスターファミリーだが、その持ち味をさらに引き出すことができるタイヤが、このバトルクルーズエイチゴーマルと言えよう。

特筆すべきポイントだ。サスペンションでスポイルしきれない路面からの細かな衝撃をタイヤがしっかりと吸収し、コンフォート性を大幅に向上している。ノイズも感じられず、乗り心地が上ったことでロングライドでの疲労度を飛躍的に低減。今回のテストライドでも、半日フォーティエイトで走り回ったが疲れは感じなかった。